

事業報告書

- 検定職種：機械保全職種
- 事業年度：2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）

事 項	計 画	状 況
1 試験科目の認定等 (1) 指定試験機関技能検定委員の選任計画等 【能開則第63条の9第3項及び第4項に関する事項について】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試験問題作成担当（査読担当含む）の検定委員は、2020年3月末で任期を迎えるため、2019年度中に再任の交渉を行う。また、必要に応じ交代又は追加で選任する。試験問題作成担当の検定委員は、30名～35名程度とする。 ・ 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員は、再任および交代・追加により、250名～300名程度を選任する（任期は1年）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試験問題作成担当（査読担当含む）の検定委員数 計36名（首席1名、機械系保全作業7名、電気系保全作業6名、設備診断作業6名、特級6名、基礎級3名、査読担当7名） ・ 採点や技術的事項の検討を担当する検定委員数 3級：152名、1・2級：250名
(2) 試験問題等の作成等の計画 【能開則第63条の9第1項に関する事項について】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試験問題作成委員会を、特級、機械系保全作業（基礎級含む）、電気系保全作業、設備診断作業の4つの部会に分け、各部会の担当委員で検討作成するほか部会を年4～6回開催し、技術的検証と確認を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 査読担当専門の検定委員を2名増員し（計5名）、技術的検証を強化する。 ➢ 試験問題作成事務局での根拠調査、チェック強化のほか、引き続き専門校正業者での査読（技術事項以外）も実施する。 ➢ 工程の手順を明確化して標準化し、確認ポイントを明確化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試験問題作成委員会を下記のとおり開催した。 特級：5回 機械系保全作業：7回 電気系保全作業：7回 設備診断作業：6回 ・ 通常作成工程に加えて下記チェックを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 査読専門の問題作成委員のチェックを実施 ➢ 校正ソフト利用と併せて専門校正業者での校正校閲 ➢ スケジュールを早め事務局での確認・編集・校正を行った ただし、第2回試験で公表した正解表に誤りがあった。今後は、再発防止策の徹底を図る。
(3) 試験問題の水準調整会議の開催計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3級：4月下旬～6月上旬にて、全国主要都市（※）で各1回実施 仙台、大宮、東京、静岡、金沢、名古屋、大阪、岡山、福岡 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水準調整会議を下記のとおり実施した。 ・ 3級：全国7か所で実施

事 項	計 画	状 況
【能開則第63条の9第1項に関する事項について】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1・2級：10月初旬～11月下旬にて、全国主要都市（※）で各1回実施 仙台、大宮、東京、静岡、金沢、名古屋、大阪、岡山、福岡 ※実施都市は、検定委員の在住状況、出席状況により最終決定。 	<p>5月15日（品川）、5月20日（福岡）、5月21日（岡山）、5月24日（大宮）、5月28日（金沢）、5月30日（名古屋）、5月31日（大阪）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特・1・2級：全国7か所で実施 <p>10月15日（品川）、10月17日（大阪）、10月18日（名古屋）、10月24日（福岡）、10月25日（岡山）、10月31日（大宮）、11月1日（金沢）</p>
<p>2 技能検定試験の実施等</p> <p>(1) 公示・公表</p> <p>① 実施公示</p> <p>【技能検定実施計画において規定される指定試験機関が行う実施公示】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特級・1級・2級・3級について、ホームページ上において、2019年3月1日（金）から2020年3月31日（火）まで公示する。 ・ 3級の詳細は、ホームページ上において2019年3月1日（金）から2020年3月1日（日）まで、特級・1級・2級の詳細は、2019年8月1日（木）から2020年3月1日（日）まで掲載する。 ・ 受検案内は、過去3年間に受検者がいた企業、工業高校、関係団体、会員企業等に配布し、周知する。また、ホームページからダウンロードできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公示は下記のとおり実施した。 <p>3月1日から翌年2月29日までホームページにて公示内容を掲載した。併せて試験要項、試験概要、受検申請で詳細の案内を掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受検案内の配布 <p>過去3年間の申請団体に以下のスケジュールで配布し周知を行った。</p> <p>3級：2019年3月1日</p> <p>特・1・2級：8月1日</p>
<p>② 実技試験問題の概要、合否基準並びに試験問題及びその正答の公表</p>	<p>① 実技試験（製作等作業試験）の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題概要は、ホームページにおいて、試験実施の3週間前を目途に掲載して公表するほか、受検票とともに通知する。 <p>② 合否基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページにおいて掲載して公表する。 <p>③ 試験問題及びその正解の公表</p> <p>ホームページにおいて、すべての試験日程が終了した日から2週間以内に、問題及び正解を公開する。ただし、機械系保全作業、設備診断作業の判定材料（資料、写真、図版等）及び電気系保全作業（製作等作業試験）の試験問題、機材、正解は公開しない。</p>	<p>① 実技試験の概要【電気系保全作業（製作等作業試験）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気系保全作業（製作等作業試験）は以下の通り公表した <p>3級：ホームページにおいて、5月15日（試験実施1か月前）</p> <p>1・2級：ホームページにおいて、11月8日（試験実施1か月前）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受検票は以下の通り発送した <p>3級：個人申請 5月24日、団体申請 5月31日</p> <p>特・1・2級：個人申請 11月13日、団体申請 11月20日</p> <p>② 合否基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営するホームページにおいて常時公表している <p>③ 試験問題およびその正答は以下の通り公表した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3級：ホームページにおいて、7月19日【※】 ・ 特・1級：ホームページにおいて、1月24日【※】 ・ 2級：ホームページにおいて、12月20日【※】 <p>※製作等作業試験である電気系保全作業の正答、機材、および判断等試験である機械系保全作業、設備診断作業の判定材料(写真、</p>

事 項	計 画	状 況
		図版等)は除く
(2) 受検申請書の受付 【法第47条第1項に関する事項】	① 3級（機械系保全作業、電気系保全作業）： ・ インターネット受付：2019年4月1日（月）10:00～4月19日（金）18:00 ・ 郵送受付：2019年4月1日（月）～4月12日（金）消印有効 ② 特級・1級・2級（機械系保全作業、電気系保全作業、設備診断作業） ・ インターネット受付：2019年9月9日（月）10:00～10月4日（金）18:00 ・ 郵送受付：2019年9月9日（月）～9月27日（金）消印有効	① 3級 ・ インターネット：4月1日（月）～4月19日（金）18:00 ・ 郵送：4月1日（月）～4月12日（金）消印有効 ② 特・1・2級 ・ インターネット：9月9日（月）～10月4日（金）18:00 ・ 郵送：9月9日（月）～9月27日（金）消印有効
(3) 受検票等の交付に係る計画 【法第47条第1項に関する事項】	申請事項が適正なものに対して、試験日の1か月前～3週間前に、受検票を受検者（または受検申請の取りまとめ者）宛に発送する。	・ 受検票は以下の通り発送した 3級：個人申請 5月24日、団体申請 5月31日 特・1・2級：個人申請 11月13日、団体申請 11月20日
(3) 実技試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙1のとおり。	別紙1のとおり。
(4) 学科試験の実施 【法第47条第1項に関する事項】	別紙1のとおり。	別紙1のとおり。
(5) 試験の合否判定等の状況 【法第47条第1項に関する事項】	-	・ 合否判定基準に基づき下記のとおり技能士合格と判定した 特級：109人 1級：2,490人 2級：5,307人 3級：5,212人 基礎級：1,445人 随時3級：90人 随時2級：0人
(6) 合格者の発表等 【法第47条第1項に関する事項】	① 3級：2019年8月16日（金）に合格発表を行う計画で、厚生労働大臣による合否決定の手続き等を実施する。 特級・1・2級：2020年3月20日（金）に合格発表を行う計画で、厚生労働大	・ 厚生労働省による合否決定に基づき下記のとおりホームページへ掲載し、全受検者へ結果通知の発送を行った。なお、追試験分は通知の送付のみ。 ② 3級：8月16日

事 項	計 画	状 況
(7)合格証書の交付等の状況	臣による合否決定の手続き等を実施する。	② 特・ 1・2 級：3月23日 ・ 技能士合格者に対して、下記のとおり合格証書を交付した。 ※ () 内は合格証書の再交付件数 特級：161 (1) 人 1 級：2,917 (32) 人 2 級：5,932 (69) 人 3 級：5,289 (14) 人 基礎級：1,445 (2) 人 随時3級：90 (0) 人 随時2級：0 (0) 人
3 その他 (1) 秘密保持義務、業務制限等の周知	秘密保持義務、秘密事項の範囲、秘密資料の適切な取扱い及び業務制限について、試験業務に関わる役職員に対しては2019年4月に部内研修で周知し、技能検定委員に対しては、選任時及び水準調整会議において周知徹底する。	・ 秘密保持義務を含む情報管理について、試験業務を担当する職員に対して2019年4月に周知徹底した。 ・ 技能検定委員に対しては、秘密保持および業務制限について選任時に説明するほか、水準調整会議において説明し周知徹底した。
(2) 試験業務に関する内部監査の実施	試験業務に関与していない役職員を監査担当者に任命し、2020年2月～3月の間に、試験業務を対象に、内部監査を実施する。	・ 試験業務に関与していない調査研究開発部長および普及推進部所属の職員の2名を監査担当者とし、3月末に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため実施を延期した。 ・ 6月16日（火）に内部監査を実施し、6月の理事会にて報告を行った。

別紙1 試験日・実施地区

- 試験年度 : 2019年度 (2019年4月1日～2020年3月31日)

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
随時3級、基礎級	学科	2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)において当会が指定する日	各都道府県において、当会が指定する会場	<ul style="list-style-type: none"> 随時3級、基礎級は下記のとおり試験を実施した。 随時3級：4月1日(月)～翌年3月31日(火) 基礎級：4月1日(月)～翌年3月31日(火) 当会が指定する場所(主として、監理団体または受検者が所属する企業内または当会が確保した会場や当会保有の研修室)にて実施した。
	実技			
3級	学科	2019年7月13日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 各都道府県に1会場を目安に、設置する。 具体的な会場設置場所は、県庁所在地または地理的・交通の便を考慮し、かつ過去3年間の実績及び2018年度の実績や希望者が少ない地域でも、他の試験会場までの距離や交通手段を考慮して試験会場を設置することがある。 企業・学校からの団体申込みの場合、当該企業・学校を会場とすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 3級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 7月13日(土)に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技	<ul style="list-style-type: none"> ① 機械系保全作業：2019年7月13日(土) ② 電気系保全作業：2019年6月15日(土)～7月21日(日)の間で、当会が指定する日に複数回実施 		<ul style="list-style-type: none"> 3級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ①機械系保全作業 7月13日(土)に実施した。 ②電気系保全作業 6月15日(土)～7月21日(日)の間で、当会が指定する日に、実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
特級	学科	2020年1月19日(日)	<ul style="list-style-type: none"> 企業・学校からの団体申込みの場合、当該企業・学校を会場とすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 特級学科・実技試験は下記のとおり試験を実施した。 1月19日(日)に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技			
1級	学科	2020年1月19日(日)	<ul style="list-style-type: none"> 1級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 1月19日(日)に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり 	

等級	区分	計画		実施
		日程	会場	
2 級	実技	① 機械系保全作業、設備診断作業 2020年1月19日（日） ② 電気系保全作業 2019年12月7日（土）～2020年 2月23日（日）の間で、当会が指定 する日に複数回実施。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ①機械系保全作業、設備診断作業 1月19日（日）に実施した。 ②電気系保全作業 12月7日（土）～翌年2月23日（日）の間で、当会が指定する日に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	学科	2019年12月15日（日）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 級学科試験は下記のとおり試験を実施した。 12月15日（日）に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり
	実技	① 機械系保全作業、設備診断作業 2019年12月15日（日） ② 電気系保全作業 2019年12月7日（土）～2020年2 月23日（日）の間で、当会が指定す る日に複数回実施。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 級実技試験は下記のとおり試験を実施した。 ①機械系保全作業、設備診断作業 12月15日（日）に実施した。 ②電気系保全作業 12月7日（土）～翌年2月23日（日）の間で、当会が指定する日に実施した。 ※実施地区は別紙2のとおり

別紙2 <2019年度 会場設置地区(都市)>

3級 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業)、実技 (機械系保全作業) 57都市 60会場

札幌、八戸、弘前、盛岡、北上、仙台、秋田、山形、酒田、福島、白河、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区、横浜、新潟、長岡、富山、金沢、福井、甲府、松本、大垣、静岡、浜松、名古屋、鈴鹿、草津、大阪、神戸、奈良、鳥取、松江、江津、岡山、広島、福山、山口、周南、高松、松山、高知、福岡、北九州、久留米、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、都城、鹿児島、那覇、沖縄

3級 : 実技 (電気系保全作業) 39都市 延べ43会場

札幌、釧路、盛岡、仙台、秋田、山形、酒田、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区、武蔵野、横浜、新潟、富山、金沢、福井、松本市、大垣、静岡、湖西、名古屋、鈴鹿、大津、大阪、松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、熊本、大分、宮崎、那覇、沖縄

特級 : 28都市 28会場

札幌、仙台、郡山、水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、富山、金沢、福井、松本、岐阜、名古屋、津、大津、京都、神戸、奈良、岡山、広島、山口、高松、福岡、那覇

1級 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業)、実技 (機械系保全作業・設備診断作業) 57都市 58会場

札幌、青森、盛岡、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、23区内、横浜、相模原、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、湖西、名古屋、岡崎、豊橋、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、今治、高知、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

2級 : 学科 (機械系保全作業・電気系保全作業・設備診断作業)、実技 (機械系保全作業・設備診断作業) 59都市 60会場

札幌、青森、八戸、北上、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、つくば、宇都宮、前橋、太田、さいたま、千葉、23区内、横浜、相模原、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、岐阜、静岡、浜松、湖西、名古屋、岡崎、豊橋、津、大津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、周南、徳島、高松、新居浜、高知、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

1・2級 : 実技 (電気系保全作業) 54都市 延べ130会場

札幌、帯広、青森、北上、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、高崎、前橋、さいたま、千葉、23区内、横浜、新潟、富山、金沢、福井、甲府、松本、大垣、静岡、浜松、湖西、名古屋、鈴鹿、津、四日市、草津、京都、大阪、神戸、姫路、奈良、和歌山、鳥取、松江、岡山、広島、福山、山口、徳島、高松、今治、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

以上

機械保全職種 技能検定 (機械保全技能検定) 収支決算書

2019年度 2019年4月1日～2020年3月31日まで

事業の名称	機械保全技能検定
事業の内容	機械保全技能検定の実施
事業実施法人の名称	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

単位：円

科 目		予算額	決算額	増減
I 事業収入	(1)受検手数料	458,225,000	483,426,392	25,201,392
	(2)その他収入	133,284,000	141,690,000	8,406,000
収入合計(A)		591,509,000	625,116,392	33,607,392
II 費用	(1)事業費	438,992,000	437,854,845	▲ 1,137,155
	諸謝金	31,005,000	29,160,850	▲ 1,844,150
	会場費	59,458,000	62,236,552	2,778,552
	旅費交通費	27,653,000	24,336,445	▲ 3,316,555
	消耗品費	9,333,000	11,124,516	1,791,516
	印刷費	7,116,000	6,359,769	▲ 756,231
	通信運搬費	48,858,000	49,848,650	990,650
	業務委託費	229,713,000	228,252,537	▲ 1,460,463
	減価償却費	20,657,000	20,656,850	▲ 150
	その他	5,199,000	5,878,676	679,676
	(2)管理費	117,085,000	135,979,000	18,894,000
職員人件費	80,209,000	93,258,000	13,049,000	
管理物件費	36,876,000	42,721,000	5,845,000	
費用合計(B)		556,077,000	573,833,845	17,756,845
当期収支(A-B)		35,432,000	51,282,547	15,850,547

前期からの累計繰越収支差額	▲ 112,063,700
当期収支差額	51,282,547
次期への繰越収支差額	▲ 60,781,153